

平成26年度  
公益社団法人日本地すべり学会  
関東支部  
総会資料



写真：つくば国際会議場（8月開催の研究発表会のメイン会場です）

平成26年5月8日  
東京大学武田先端知ホール

今年の研究発表会は、つくば市で開催されます。

第 53 回研究発表会及び現地検討会  
平成 26 年 8 月 19 日(火)～8 月 22 日(金)  
メイン会場:つくば国際会議場(茨城県つくば市)

\*つくばエクスプレス/つくば駅(秋葉原駅から 45 分)から徒歩 10 分

8 月 19 日(火)	防災教育をテーマとした親子向けイベント	防災科学技術研究所
8 月 20 日(水)	開会式・研究発表会・意見交換会	つくば国際会議場
8 月 21 日(木)	研究発表会・閉会式	つくば国際会議場
8 月 22 日(金)	現地見学会 A コース:斜面崩壊実験見学 B コース:茨城県北ジオパークと震災復興 C コース:筑波山の成り立ちと土砂災害	茨城県内

申 込 受 付 中

発表申込 6 月 2 日まで

広告・新技術紹介セッション 6 月 20 日まで

ランドスライドフォトコンテスト 6 月 20 日まで

参加申込 7 月 18 日まで

詳細は、学会ホームページを！

#### News

- 学生会員の参加費等(事前申込のみ)を値下げしました。
- 学生会員・若手正会員を対象とした若手ポスター賞を充実します。
- ランドスライドフォトコンテストを同時に開催します。  
斜面災害・対策の現場写真を募集します。誰でも参加できます。
- 概要集がCD化されます。  
事前参加申込者は、事前に Web 上で閲覧できます。

## 平成26年度

### 公益社団法人日本地すべり学会関東支部

#### 総会次第

日時：平成26年5月8日（木）12:45-13:45

場所：東京大学武田先端知ホール（東京都）

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
  - 3-1. 議長選任
  - 3-2. 議案
    - 第1号議案 支部役員の選任に関する件
    - 第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件
  - 3-3. 報告
    - 平成26年度計画・予算に関する報告
    - 支部役員交替に関する報告
  - 3-4. その他
4. 閉会

#### **[参考]関東支部会員数**

支部会員数	定足数	基準日
431名	87名	平成26年4月7日

\*関東支部管内：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

## 第1号議案 支部役員の選任に関する件

### 1. 支部役員の選任

第1期の支部役員の任期が満了するにともない、関東支部運営内規第4条にもとづいて、次の支部役員を選任する。

第2期（平成26-27年度） 支部長、副支部長、監事

### 2. 支部役員の候補者

運営委員会による推薦は、次のとおりある。

表1 支部役員の候補者

区分	所属	備考
落合博貴	独立行政法人 森林総合研究所 企画部	再任
若井明彦	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科	再任
山田正雄	情報防災技術株式会社	再任
向井啓司	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 斜面保全部	再任
井田由夫	群馬県 環境森林部 森林保全課	再任

### 3. その他の支部役員

第2期の運営委員、幹事は、支部に所属する正会員のうちから、選任された支部長が委嘱することから（関東支部運営内規第4条）、5月末頃までに決定される見込みである（関東支部 Web で公開予定）。

## 第2号議案 事業報告及び決算の承認に関する件

### 1. 平成25年度事業報告

平成25年度事業報告は次のとおりである。

- (1) 総会：平成25年5月10日（金）（東京大学武田先端知ビル 武田ホール）
- (2) シンポジウム：平成25年5月10日（金）（東京大学武田先端知ビル 武田ホール）  
テーマ：斜面災害とモデル実験
  - ・大型降雨実験施設における斜面崩壊実験  
酒井直樹（(独)防災科学技術研究所）
  - ・人工降雨による現地斜面崩壊実験—茨城県加波山における試み—  
落合博貴（(独)森林総合研究所）
  - ・アンカー緊張力計測に基づく地すべりの安定評価手法に関するモデル実験  
阿部大志（(独)土木研究所）
- (3) 意見交換会：平成25年5月10日（金）（東京大学 山上会館）
- (4) 現地検討会
  - ① 第1回現地検討会：平成25年8月20日（火） 参加者22名  
茨城県北ジオパークと津波被害跡を見る
    - ・五浦海岸の地質，津波被害と六角堂の復興  
天野一男（茨城大学理学部教授）  
齋藤勝男（茨城大学学術企画部社会連携課長）
    - ・花貫溪谷・日鉱記念館・かみね公園ジオサイトの地質  
田切美智雄（日立市郷土博物館特別専門員）
  - ② 第2回現地検討会：平成25年11月5日（火） 参加者18名
    - ・奈良平地区（群馬県みなかみ町）の大規模崩壊  
群馬県環境森林部森林保全課・利根沼田環境森林事務所  
国土防災技術株式会社前橋支店

\* 学会活動報告：日本地すべり学会誌 Vol. 51, No. 2 pp. 41-42.
- (5) 運営委員会・幹事会
  - ① 運営委員会
    - ・ 第1回（第6回幹事会合同） 平成26年4月16日（水）港区生涯学習センター  
出席者20名
  - ② 幹事会
    - ・ 第1回 平成25年5月31日（金）港区生涯学習センター 出席者12名
    - ・ 第2回 平成25年7月5日（金）日本工営会議室 出席者14名
    - ・ 第3回 平成25年9月27日（金）港区生涯学習センター 出席者18名
    - ・ 臨時 平成25年11月11日（月）日本工営会議室 出席者9名
    - ・ 第4回 平成25年12月9日（月）日本工営会議室 出席者16名

- ・第5回 平成26年4月4日(金) 港区生涯学習センター 出席者11名
- (6) 災害調査
- 台風26号による伊豆大島災害(東京都大島町)
- ①第1回災害調査(砂防学会と合同調査):平成25年11月2日(土)9名
  - ②土木学会外4学会合同調査団への派遣:平成25年11月9日(土)~11月10日(日)  
派遣2名
  - ③土砂災害緊急対応委員会:平成25年11月11日(月) 日本工営会議室
  - ④学会・災害調査報告会:平成25年11月29日(金)
- \*ニュース:日本地すべり学会誌 Vol. 51, No. 1, pp. 25-28.
- ⑤第2回災害調査:平成25年11月30日(土)~12月1日(日)7名
  - ⑥土木学会外4学会合同調査団報告会:平成26年1月23日(木)
- (7) 広報活動等
- ・関東支部 Web ページ更新
- (8) 第53回研究発表会及び現地検討会に関する準備
- ・準備委員会(幹事会と合同で開催)
  - ・第1回実行委員会 平成25年7月22日(火) 研究交流センター(つくば市)
- (9) 斜面モニタリング研究会
- ・委員募集 平成25年12月 参加者25名
  - ・第1回委員会 平成25年12月19日(木) 日本工営会議室 出席者11名

## 2. 平成25年度決算報告

平成25年度決算案は次のとおりである。

表2 平成25年度決算案(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

収益	当期収益	事業収益	シンポジウム収益	247,000
			現地検討会収益	154,500
		受取利息		146
		預り金		1,021
		小計		402,667
	資金移動(本部→支部)			200,000
	計			602,667
費用	当期費用	事業費	シンポジウム費	247,500
			現地検討会費	248,108
		管理費		104,415
		小計		600,023
	計			600,023
当期収支差				2,644

事業収支再掲			
区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	247,000	247,500	▲ 500
現地検討会	154,500	248,108	▲ 93,608

別表1 平成25年度決算(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

				【収益】			
勘定科目				予算	決算	決算-予算	備考
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				470,000	402,667	▲ 67,333	
	事業収益			470,000	402,667	▲ 67,333	
		シンポジウム収益		310,000	247,000	▲ 63,000	
			参加費	160,000	102,000	▲ 58,000	¥2,000×51名
			意見交換会費	150,000	145,000	▲ 5,000	¥5,000×29名
		現地検討会収益		160,000	154,500	▲ 5,500	
			参加費	160,000	154,500	▲ 5,500	第1回:¥3,500×21名 ¥1,000×1名 第2回:¥5,000×14名 ¥2,500×4名
			意見交換会費		0	0	
	受取利息				146	146	
	預り金				1,021		源泉所得税
資金移動(本部→支部)				200,000	200,000	0	
当期収益合計(A1)				670,000	602,667	▲ 67,333	
内)未収入金(A2)							
				【費用】			
勘定科目				予算	決算	決算-予算	備考
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用							
	事業費			561,200	495,608	▲ 65,592	
		シンポジウム費		320,000	247,500	▲ 72,500	
			印刷製本費	150,000	89,250	▲ 60,750	
			会場費		9,000	9,000	東京大学山上会館
			会議費		139,650	139,650	東京大学山上会館
			意見交換会費	150,000		▲ 150,000	
			諸謝金				
			旅費交通費	20,000	8,760	▲ 11,240	講師旅費×2名
			通信運搬費				
			支払手数料		840	840	
			消耗品				
			備品				
			雑費				
		現地検討会費		241,200	248,108	6,908	
			印刷製本費	20,000		▲ 20,000	
			会場費		21,000	21,000	イヤホン貸付レンタル料
			会議費		58,750	58,750	昼食代
			意見交換会費				
			諸謝金		10,000	10,000	講師謝金×1名
			旅費交通費	200,000		▲ 200,000	
			旅費交通費-借料		133,778		バス賃料第1回:¥87,000 第2回:
			通信運搬費	9,200		▲ 9,200	
			支払手数料		3,080	3,080	
			消耗品				
			備品				
			雑費	12,000	21,500	9,500	保険料
	管理費			198,000	104,415	▲ 93,585	
		給与・手当					
			パート給与				
			アルバイト給与				
			会場費		76,000	76,000	東京大学武田先端知ホール等使用料
			会議費				
			支部総会費	130,000	3,300	▲ 126,700	名札
			幹事会・運営委員会費	24,000		▲ 24,000	
			技術委員会費				
			印刷製本費		22,880	22,880	総会資料印刷製本
			旅費交通費				
			通信運搬費	35,000	1,080	▲ 33,920	
			消耗品				
			事務用品費				
			事務費				
			OA費、HP維持管理費				
			備品				
			外注費				
			諸会費				
			支払手数料	9,000	1,155	▲ 7,845	
			公租公課				
			印紙代				
			雑費				
当期費用合計(B1)				760,000	600,023	▲ 159,977	
内)未払い金(B2)					4,600	4,600	未精算立替金
当期収支差額(C=A1-B1)				▲ 90,000	2,644	92,644	
前期繰越額(D)				1,127,237	1,127,237	0	
次期繰越収支差額(D+C+B2)				1,037,237	1,134,481	97,244	【ゆうちょ銀行】1,134,450 +【現金】31 =1,134,481

### 3. 監査報告

平成 25 年度の支部事業及び会計について、支部監事により監査が行われた。

#### 監査報告書 (写)

#### 監査報告書 (関東支部)

平成 26 年 4 月 14 日

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 檜垣 大助 殿

監事 井田 由夫 (井田)  
監事 河井 啓司 (河井)

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

##### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

##### 2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上



- ・第5回 平成26年4月4日(金) 港区生涯学習センター 出席者11名
- (6) 災害調査
  - 台風26号による伊豆大島災害(東京都大島町)
  - ①第1回災害調査(砂防学会と合同調査):平成25年11月2日(土)9名
  - ②土木学会外4学会合同調査団への派遣:平成25年11月9日(土)~11月10日(日)  
派遣2名
  - ③土砂災害緊急対応委員会:平成25年11月11日(月) 日本工営会議室
  - ④学会・災害調査報告会:平成25年11月29日(金)
  - \*ニュース:日本地すべり学会誌 Vol. 51, No. 1, pp. 25-28.
  - ⑤第2回災害調査:平成25年11月30日(土)~12月1日(日)7名
  - ⑥土木学会外4学会合同調査団報告会:平成26年1月23日(木)
- (7) 広報活動等
  - ・関東支部 Web ページ更新
- (8) 第53回研究発表会及び現地検討会に関する準備
  - ・準備委員会(幹事会と合同で開催)
  - ・第1回実行委員会 平成25年12月10日(火) 研究交流センター(つくば市)
- (9) 斜面モニタリング研究会
  - ・委員募集 平成25年12月 参加者25名
  - ・第1回委員会 平成25年12月19日(木) 日本工営会議室 出席者11名

## 2. 平成25年度決算報告

平成25年度決算案は次のとおりである。

表2 平成25年度決算案(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

収益	当期収益	事業収益	シンポジウム収益	247,000
			現地検討会収益	154,500
		受取利息		146
		預り金		1,021
		小計		402,667
	資金移動(本部→支部)			200,000
	計			602,667
費用	当期費用	事業費	シンポジウム費	247,500
			現地検討会費	248,108
		管理費		104,415
		小計		600,023
	計			600,023
当期収支差				2,644

事業収支再掲			
区分	収益	費用	収支差
シンポジウム	247,000	247,500	▲ 500
現地検討会	154,500	248,108	▲ 93,608

別表2 平成26年度予算(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【収益】					
勘定科目				金額	備考
大科目	中科目	小科目	細目		
支部収益				420,000	
	事業収益			420,000	
		シンポジウム収益		270,000	
			参加費	120,000	
			意見交換会費	150,000	
		現地検討会収益		150,000	2回実施予定
			参加費	150,000	
			意見交換会費		
	雑収益				
	受取利息				
	預り金				
	資金移動(本部→支部)			300,000	
	当期収益合計(A1)			720,000	
	内)未収入金(A2)			0	
【費用】					
勘定科目				金額	備考
大科目	中科目	小科目	細目		
支部費用				720,000	
	事業費			545,000	
		シンポジウム費		295,000	
			印刷製本費	90,000	
			会場費		
			会議費	9,000	
			意見交換会費	150,000	
			諸謝金	40,000	
			旅費交通費	6,000	
			通信運搬費		
			支払手数料		
			消耗品		
			備品		
			雑費		
		現地検討会費		250,000	2回実施予定
			印刷製本費	40,000	
			会場費		
			会議費		
			意見交換会費		
			諸謝金		
			旅費交通費		
			旅費交通費一借料	200,000	
			通信運搬費	10,000	
			支払手数料		
			消耗品		
			備品		
			雑費		
	管理費			175,000	
		給与・手当			
			パート給与		
			アルバイト給与		
		会場費			
		会議費			
			支部総会費	70,000	
			幹事会・運営委員会費	10,000	
			技術委員会費		
		印刷製本費		80,000	災害報告書
		旅費交通費			
		通信運搬費		13,000	
		消耗品	事務用品費		
		事務費	OA費、HP維持管理費		
		備品			
		外注費			
		諸会費			
		支払手数料		2,000	
		公租公課	印紙代		
		雑費			
	当期費用合計(B1)			720,000	
	内)未払い金(B2)			0	
	当期収支差額(C=A1-B1)			0	
	前期繰越額(D)			1,134,481	
	次期繰越収支差額(D+C+B2)			1,134,481	

## 支部役員交替に関する報告

平成 26 年 4 月の人事異動をうけて、次のように第 1 期運営委員、幹事を交替する。

表 4 第 1 期（平成 24-25 年度）運営委員・幹事交替

区分	新		旧	
運営委員	保坂秀人	山梨県 県土整備部 砂防課	小内 薫	山梨県 県土整備部 砂防課
運営委員	山口 修	群馬県 県土整備部 砂防課	中村 達	群馬県 県土整備部 砂防課
幹事	櫻井順児	群馬県 環境森林部 森林保全課	石田博文	群馬県 環境森林部 森林保全課
幹事	坂口勝利	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課	小田郁夫	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課
幹事	タルカドアキラ 樽角晃	応用地質株式会社	本間宏樹	応用地質株式会社

別表3 第1期関東部役員名簿（平成26年4月現在）

区分	氏名	所属	備考	
支部長	落合博貴	独立行政法人 森林総合研究所 企画部		
副支部長	1 若井明彦	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科		
	2 山田正雄	情報防災技術株式会社		
監事	向井啓司	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 斜面保全部		
	井田由夫	群馬県 環境森林部 森林保全課		
運営委員	天野一男	国立大学法人 茨城大学 理学部 地球生命環境学科		
	後藤 聡	国立大学法人 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部		
	鈴木輝一	国立大学法人 埼玉大学 大学院 理工学研究科		
	蔡 飛	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科		
	西真佐人			
	井口英道	林野庁		
	小山内信智	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ		
	山口 修	群馬県 県土整備部 砂防課	4月交替	
	久保 徹	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課	4月交替	
	保坂秀人	山梨県 県土整備部 砂防課	4月交替	
	稲垣 裕	日本工営株式会社 流域・防災事業部 防災部		
	小野田敏	アジア航測株式会社 社会基盤システム開発センター		
	小林 豊	日本サーベイ株式会社		
山崎 勉	国土防災技術株式会社 技術本部			
幹事長	櫻井正明	株式会社山地防災研究所		
副幹事長	藤原民章	日本工営株式会社 流域・防災事業部 防災部		
幹事	広報3 佐藤 剛	帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科		
	企画1 三輪賢志	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ		
	企画1 井上敬資	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所		
	企画3 酒井直樹	独立行政法人 防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット		
	広報3 櫻井順児	群馬県 環境森林部 森林保全課	4月交替	
	広報3 坂口勝利	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課	4月交替	
	広報3 櫻田 学	山梨県 県土整備部 砂防課		
	総務1 浦 元啓	日本工営株式会社 インフラマネジメント事業部 アセットマネジメント技術部		
	広報1 小野田敏	アジア航測株式会社 社会基盤システム開発センター		
	広報1 菅野孝美	川崎地質株式会社 事業本部		
	会計 小林 豊	日本サーベイ株式会社		
	広報2 今野幸喜	国土防災技術株式会社 技術本部		
	企画2 木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 砂防・防災事業部		
		梶山國博	株式会社ダイヤコンサルタント 砂防・防災事業部	
	総務2 平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		
	総務2 樽角晃	応用地質株式会社 東京支社ジオテクニカルセンター	4月交替	
	総務1 滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 東京支店防災課		
企画2 林 一成	奥山ボーリング株式会社 技術開発室 東京事務所			

注) 4月の人事異動をうけて、運営委員3名、幹事3名が交代した。なお、総会後に、第2期運営委員・幹事が委嘱される予定である。

## 公益社団法人日本地すべり学会 関東支部運営内規

### 第1章 総則

(目的)

第1条 この内規は、公益社団法人日本地すべり学会関東支部の運営を円滑に進めることを目的として定める。

2. 関東支部の運営は、公益社団法人日本地すべり学会定款、公益社団法人日本地すべり学会規則(以下「学会規則」という)、支部運営細則、土砂災害緊急調査細則、研究発表会実施細則及びこの運営内規に基づいて実施する。

### 第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 関東支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事のほか、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く(以下「役員」という)。

2. 役員の設定は下記のとおりとする。

支部長	1名
副支部長	1～2名
支部監事	2名
運営委員	5～20名
幹事長	1名
副幹事長	1～2名
幹事	5～20名

3. 副支部長を2名置く場合は、代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 運営委員は、支部の運営を協議する。

2. 幹事は支部の運営に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

3. 役員は、無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。

2. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

(任期)

第5条 役員は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2. 支部長、副支部長、監事の任期の始期は、総会において選任された時とし、次期役員が総会において選任された時までとする。

3. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事の任期の始期は、支部長が委嘱した時とし、次期役員が委嘱される時までとする。

4. 役員が欠員となったときには、役員を選任することができるが、任期の終期は、欠けた役員の任期の終期と同じとする。

(解任)

第6条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときには、総会の決議によって解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

### 第3章 支部総会

(構成・議長)

第7条 支部総会は、支部に所属する正会員をもって構成する。

2. 支部総会の議長は、支部総会において、支部に所属する正会員(役員を除く)の中から選出する。

(決議事項)

第8条 支部総会は、支部に関する次の事項を決議する。

(1) 運営内規の変更、廃止

(2) 事業報告及び決算

(3) 会計および業務執行に関する支部監事の報告

(4) 支部長、副支部長、支部監事の選任又は解任

(5) 幹事長、副幹事長、運営委員、幹事の解任

(6) その他、支部総会で審議することが決議された事項

(定足数・議決)

第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。

2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

3. 総会に出席できない正会員が、書面をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。

4. 支部総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

5. 支部長は、支部監事から、その事由を付した文書により支部総会の開催を請求された場合は、速やかに支部総会の招集をおこなわなければならない。

#### 第4章 運営委員会

(構成・招集・議長)

第10条 運営委員会は、支部長、副支部長、支部監事、運営委員のほか、幹事長、副幹事長をもって構成する。

2.運営委員会の会議は、支部長が招集する。また、会議の議長は、支部長または副支部長がこれにあたる。

(決議事項)

第11条 運営委員会は、支部に関する次の事項を決議する。

- (1) 支部総会に付議すべき事項
- (2) 支部総会の決議事項の執行に関する事項
- (3) 事業計画及び予算
- (4) 支部長、副支部長、支部監事の推薦
- (5) その他運営に関する事項

(議決)

第12条 運営委員会の議事は、決議について特別の利害関係を有する者を除く出席した運営委員会の構成員の過半数をもって決する。

2.運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

3.運営委員会は、支部運営細則第6条第3項および第4項に規定する会議を兼ねるものとする。

#### 第5章 幹事会

(構成)

第13条 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.支部運営を円滑に行うため、幹事長の下に総務、会計、広報、企画の担当を置く。

(役割)

第14条 幹事会は、支部長の指揮を受けて、次の事項を実施する。

- (1) 総会、運営委員会の決議事項に関する事項
- (2) 支部長の指示した事項
- (3) その他運営に関する事項

(会議)

第15条 会議は、幹事長が招集し、必要に応じて、支部長または副支部長の参加を求めることができる。また、支部監事は、必要に応じて、会議を傍聴することができる。

2.会議の議長は、幹事長または副幹事長がこれにあたる。

3.幹事長は、会議の内容について、支部長に報告しなければならない。

(事務局)

第16条 幹事会の事務を効率的に処理するために、事務局を設置することができる。

2.事務局の設置及び運営に関する事項については、支部長が定める。

#### 第6章 土砂災害緊急対応委員会

(構成)

第17条 土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会は、支部長、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.副委員長は幹事長とし、支部長が兼務する委員長を補佐する。

#### 第7章 研究発表会実行委員会

(設置)

第18条 支部長は、研究発表会実施細則第4条に定められた研究発表会開催の要請をうけ、実施を委任された場合は、研究発表会実行委員会を設置する。

2.研究発表会実行委員会の設置のための準備、設置されるまでの間の対応は、幹事会が行うものとする。

#### 第8章 文書管理

(文書番号)

第19条 支部の運営上発信が必要な文書で、支部の公印を押捺した文書は、文書番号を付すものとする。

(文書の保管)

第20条 文書番号を付した文書は、発信した文書の控えを事務局が保管する。

2.文書番号を付した文書の保管期間は、原則として発信後2年間とするが、必要な場合は保管期間を延長することができる。

#### 第9章 会計処理

(金銭の出納)

第21条 支部における金銭の出納および保管は、会計担当の幹事が行うものとする。

2.支部が管理する預金の出納に使用する印鑑は、支部長の職名を刻した印とし、会計担当の幹事が保管し押印する。

(監査)

第22条 支部監事は、決算時および必要と認められる場合は、支部の会計について監査を行い、文書により支部総会に報告しなければならない。

#### 付 則

1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。

## 支部会員の皆さまへのお知らせ

関東支部からの行事等の連絡は、①学会メーリングリスト、②関東支部 Web ページを通じて行います。

学会メーリングリストにぜひ登録してください。

### ●学会メーリングリスト

学会メーリングリスト（メール配信サービス）への登録等は、学会 Web ページを参照してください。

学会 Web ページ→メール配信サービス：

<http://www.landslide-soc.org/maillinglist/index.html>

### ●関東支部 Web ページ

学会 Web ページから、「関東支部」をクリックして入ってください。

学会 Web ページ：<http://www.landslide-soc.org/>

関東支部事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 5-26-8 新橋加藤ビル

公益社団法人日本地すべり学会事務局内

TEL：03-3432-1878 FAX：03-5408-5250

(TEL/FAX：学会事務局と共用)

## 会場地図（東京大学本郷キャンパス）

### ■武田先端知ホール（総会及びシンポジウム）

東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部内 TEL 03-5841-1163

地下鉄南北線「東大前」駅下車 徒歩 8分、千代田線「根津」駅下車 徒歩 5分

### ■山上会館（意見交換会）



#### 1) 支部総会

期日：平成26年5月8日（木） 12:45-13:45（受付開始 12:15） 場所：東京大学武田先端知ホール

#### 2) シンポジウム 防災教育を考える—高校における地学教育の現状と課題—

期日：平成26年5月8日（木） 14:00-17:00（受付開始 13:45） 場所：東京大学武田先端知ホール

参加費：支部会員・一般2,000円（学生会員1,000円）

#### 3) 意見交換会

期日：平成26年5月8日（木） 17:30-19:30 場所：東京大学山上会館

参加費：支部会員（変更予定の方を含む） 5,000円